



2024年3月23日

P.UNITED イベント広報事務局

パラリンピック9競技団体の集合組織/P.UNITED
「MEET 9 WONDERS!」 - わかる・広がるパラスポーツの世界 -
神奈川県横浜市でパラスポーツイベントが開催されました！
VAMOS TOGETHER 代表 アレックス・ラミレスさんも来場

謹啓、貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨日 22 日（金）から本日 23 日（土）までの 2 日間、神奈川県横浜市のランドマークプラザ 1 F「サカタのタネガーデン スクエア」にて、一般の方が自由に参加できるパラスポーツ体験イベントが行われました。イベントには、パリパラリンピックやその後のロサンゼルス大会を目指すパラスポーツ競技の選手たちも参加し、一般参加者との交流や指導を行いました。

また 2 日目には一般社団法人 VAMOS TOGETHER 代表であり、横浜市在住のアレックス・ラミレスさんにもご来場いただき、いくつかの競技を体験いただきました。パラ・パワーリフティングやパラ射撃など、実際にそれぞれの競技に触れて、P.UNITED を知っていただいた事はとても貴重であり、そして何より私たちの設立趣旨や活動内容に理解をいただいたことも今後の活動への自信となりました。

本イベントは、パラリンピック9競技団体が合同で活動をしていくプロジェクト「P.UNITED」が、昨年6月のプロジェクト発足後、初めて主催した単独イベントです。延べ 2041 名の方にパラスポーツを体験、そして知っていただき、各競技団体が単体では成しえなかった大きな規模のイベントを開催することができました。

P.UNITED とは、競技認知の低さやアスリートの練習環境・財政面など、パラスポーツ競技団体がもつ共通の課題に対して、また「健常者と障がい者がごく当たり前に共に過ごせる社会作りをしたい」という共通の目的に対して、競技団体としての基盤強化が必要だという切実な思いから立ち上がったプロジェクトです。今後も体験イベントだけでなく、メディア向けイベントなども積極的に開催し、9 競技団体でのマーケティング活動や競技力、認知向上の為活動していく予定です。

今回の体験会に参加した選手のコメントをご紹介しますので、是非とも掲載のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

謹白

■参加選手コメント：

【車いすフェンシング 加納 慎太郎選手】

いろいろな人に体験してもらって、楽しんでもらい嬉しかった。自分自身も楽しめた。また、他競技の方々との情報交換ができたのも良かったと思う。これから、未来に向かって新しいことが生まれるのではないかと、ウキウキしている。他競技も全て体験することができ、今まで全く知らなかった障がい馬術や知的水泳も体験する事で面白さが伝わり、楽しさを実感することができた。

■イベント概要：

<日程> 2024年3月22日（金）、3月23日（土）

<会場> 横浜ランドマークプラザ 1 F「サカタのタネガーデンスクエア」（横浜市西区みなとみらい 2 丁目 2 - 1）

<参加者> パラ9 競技団体より選手数名、一般参加者

■主催： 特定非営利活動法人日本パラ射撃連盟（パラスポーツ9 競技団体合同プロジェクト P.UNITED 代表団体）

■後援： 横浜市

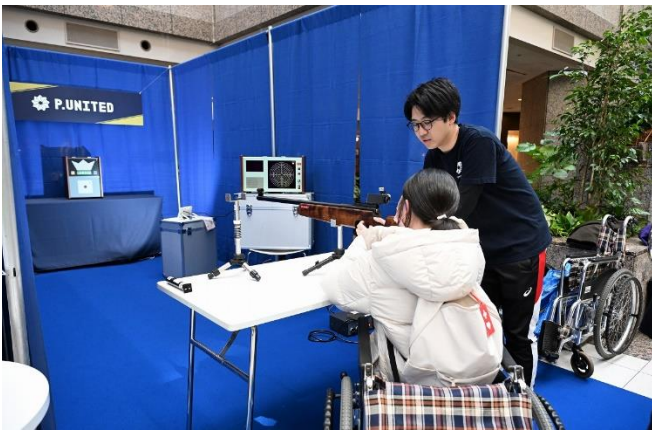
《本イベント取材に関するお問合せ》

P.UNITED イベント広報事務局（株式会社ユース・プランニングセンター内）

担当：粟林（アヲバヤシ） Email：punited-event@mediaoffice.co.jp

《 P.UNITED に関するお問合せ 》

info@punited.org <P.UNITED 広報担当 <河野/吉田>



■本イベントの画像や P.UNITED のロゴをご希望の方は、広報事務局までお問合せください。
※クレジットは ©P.UNITED

《本イベント取材に関するお問合せ》

P.UNITED イベント広報事務局（株式会社ユース・プランニングセンター内）

担当：粟林（アバヤシ） Email：punited-event@mediaoffice.co.jp

《P.UNITED に関するお問合せ》

info@punited.org <P.UNITED 広報担当 <河野/吉田>

■ P.UNITED について

東京でのパラリンピック開催でパラスポーツ競技団体間の連携が深まったことを契機に、2023年6月に9つのパラスポーツ競技団体が合同で活動を行っていくプロジェクト「P.UNITED」を立ち上げました。

競技力の強化や競技の認知向上、競技人口の確保など、個々の団体としての活動を行ってきた9団体ですが、パラスポーツや障がい者に対する理解を高め、「健常者と障がい者がごく当たり前に共に過ごせる社会作り」というパラスポーツ競技団体共通の目的に対し、パラスポーツ競技団体として更なる基盤強化が必要ではないか、という共通した課題の気づきから合同でのプロジェクトワークに可能性を感じ、ジョイントマーケティングを重点的に行うP.UNITEDとしての活動が始まりました。

競技認知の向上、競技人口の増加、アスリートの練習環境、財政面など、パラスポーツ団体が直面するそれぞれの課題に対して、団体ごとの経験や知恵を共有することで、より大きな課題に取り組み、パラスポーツ全体や社会への貢献を目指し、具体性を持って共生社会を実践していきます。

P.UNITEDを構成する9団体は下記の通りです。

一般社団法人日本車いすカーリング協会、一般社団法人障害者カヌー協会、一般社団法人日本障がい者乗馬協会、
特定非営利活動法人日本パラ射撃連盟、一般社団法人日本身体障害者アーチェリー連盟、
一般社団法人日本知的障害者水泳連盟、一般社団法人日本知的障がい者卓球連盟、
特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟、一般社団法人日本パラフェンシング協会

< 9団体での活動方針 >

- ① 楽しみを通じて知っていく。社会を変えていく推進力としてのパラスポーツの力を信じる。
- ② 共に試行錯誤する。パラスポーツ同士、さらには企業との連携など新しい取り組みに挑戦。
- ③ D&I、Well-Being、といった、社会や企業の今日的課題にも9団体らしい多様なアプローチを検討。

< スローガン >

「これからって時が、いちばん面白い」

< プロジェクト名とロゴマークに込めた思いについて >

プロジェクト名“P.UNITED” について

社会を変えていくPositiveな存在、時にそれを推進するPowerとなるなど、頭文字の“P”には様々な意味と解釈を込めています。パラスポーツの新しい取り組みとして、未来に前向きな影響を与えたいという私たちの想いを表しました。

ロゴマークについて

私たちパラリンピック9団体も力や知恵、経験をあわせていくことで、ひとつのシンボルとなっていききたい。そんな私たちの想いを、東京2020大会のエンブレムデザイナーである美術家、野老朝雄氏が形にしてくださいました。個と群のコンセプトから生まれたデザインとなっています。

